

社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会

平成28年度 事業の概要

『みなさん一人ひとりが福祉の主角』

少子高齢化の進行や生活様式の多様化などに伴い、家族や地域社会のつながりはますます希薄化しており、介護や子育てにかかる課題、社会的孤立や経済的困窮など住民を取り巻く福祉課題・生活課題が深刻化する中、地域福祉への期待はますます高まっており、当社協が果たすべき役割も重要なものとなっている。そうした役割を果たすべく平成28年度当社協は、下記事項を重点に置き取り組みを行った。

平成28年3月31日に改正社会福祉法が成立し、平成29年4月1日から施行されることに伴い、社会福祉法人の公益性・非営利性を確保するために、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みが求められることとなった。これを受け、社会福祉法人である当社協も改正社会福祉法に対応するため、定款変更を始めとする各種規程の制定並びに改正を行った。

また、地域福祉においては平成27年3月に市と協働で策定した第2次筑紫野市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、市並びに関係機関と連携を図りながら、地域福祉推進の取り組みを行った。具体的取り組みとしては、社協がこれまでも推進してきた高齢者等の生きがいづくり・仲間づくりの場である「ふれあいいきいきサロン活動」や地域での見守りや訪問・サロン活動などに取り組むボランティアである「福祉委員活動」を柱とし、各地区コミュニティー運営協議会関係者並びに、民生委員児童委員、福祉ボランティアグループ等の協力を得ながら、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して小地域福祉活動の推進を行った。

さらに、障がい児・者施設においては外部機関である相談支援事業所の相談支援に協力するとともに、アセスメント結果やサービス等利用計画の内容に応じて、施設内での支援の見直しを行い、当施設で作成する個別支援計画にも反映させた。その個別支援計画に基づき、職員が共通認識して支援を行うことによりサービスの質の向上に努めた。また、他事業所を併用利用する利用者もいるため、他事業所と情報共有を行い、利用者が安心して過ごせるようにより細やかな対応を目指した。

職員の資質向上に関する取り組みとしては、介護保険事業所を中心に社協職員全体研修として、「認知症サポーター養成講座」を実施し社協職員74名が認知症サポーターとなった。

以上が、平成28年度において当社協が重点的に取り組みを行った事業の概要であり具体的な事業内容について次のとおり報告する。

【1】具体的な事業内容（総務担当）

1 理事会の開催

実施日	回数	主 な 議 題
4月1日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野市社会福祉協議会 会長の選任について ・給与規程の一部改正について
5月24日	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告及び決算について
7月13日	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・定款施行細則の一部改正について
9月5日	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の委嘱に関する同意について
9月28日	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野市社会福祉協議会 会長・副会長の選任について
12月12日	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の全部改正について ・評議員選任・解任委員会運営規程の制定について ・給与規程の一部改正について ・平成28年度第1回補正予算について
2月27日	第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の委嘱に関する同意について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・評議員選任候補者の推薦について ・定款施行細則の一部改正について ・役員・評議員及び各種委員の報酬等に関する規程の一部改正について ・平成29年度事業計画について
3月22日	第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局規程の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・経理規程の全部改正について ・指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について ・平成28年度第2回補正予算について ・平成29年度予算について

2 評議員会の開催

実施日	回数	主 な 議 題
5月24日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告及び決算について
9月6日	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について ・監事の選任について
12月12日	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の全部改正について ・平成28年度第1回補正予算について
3月22日	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について ・平成28年度第2回補正予算について ・平成29年度事業計画及び予算について

3 専門委員会の開催（評議員選任・解任委員会）

実施日	回数	主な協議事項
2月27日	第1回	・評議員の選任について

4 福社会員加入の促進

年度 区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)
一般会員 (1口、250円)	13,977	3,494,030	14,144	3,535,980	14,096	3,523,880
賛助会員 (1口、2,000円)	402	804,000	420	840,000	438	876,000
特別会員 (1口、5,000円)	224	1,120,000	265	1,325,000	161	805,000
合計	14,603	5,418,030	14,829	5,700,980	14,695	5,204,880

5 寄付金の状況

年度 区分	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般寄付	13	1,372,381	17	471,231	14	12,192,835
香典返し	19	1,547,000	21	930,000	27	1,308,000
指定寄付	7	350,000	5	1,095,000	19	2,383,010
合計	39	3,269,381	43	2,496,231	60	15,883,845

※平成26年度金額は遺贈分を含む

6 貸付事業

年度 区分	平成28年度	平成27年度	平成26年度
援護資金貸付(件)	平成27年度で廃止	67	66
生活福祉資金貸付(件)	103	74	52
合計(件)	103	141	118

7 相談事業

区 分 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
心配ごと相談事業 (件)	20	36	55
結婚相談事業 (件)	500	568	578
成 婚 件 数 (組)	1	0	1

8 移送サービス事業

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で歩行が困難な方を対象に、自宅から病院等への送迎を行った。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
年間利用者延人数 (名)	34	63	44
月平均利用者延人数 (名)	3	5	4

9 老人福祉センターの運営 (利用状況)

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者総数 (名)	72,001	65,616	64,976

※敬老の日無料開放…………… 平成 28 年 9 月 19 日 利用者数 176 名

※カミーリヤフェスタ無料開放… 平成 28 年 10 月 2 日 利用者数 394 名

10 共同募金事業への協力

募金実績額 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
戸別募金 (円)	10,978,005	11,224,851	11,593,808
法人募金 (円)	2,404,837	2,296,253	2,229,884
イベント募金 (円)	275,221	61,885	29,485
そ の 他 (円)	2,094,129	1,883,671	1,996,764
合 計 (円)	15,752,192	15,466,660	15,849,941

※ 上記表中その他の内容 ⇨ 職域募金、募金箱募金、自販機収入、街頭募金
団体募金、個人募金

11 お見合いパーティーの実施

- ・ 平成 28 年 9 月 24 日 (土) 男性 13 名、女性 15 名参加

1 2 機関誌（福祉だより）の発行

- ・ 4 回発行 全戸配布

1 3 その他

- ・ 筑紫野市福祉大会 10月29日（日） 13:00～
講師 長阿彌 幹生氏（教育文化研究所代表）
- ・ 研修 ⇨ 9月26～27日 市区町村社協会長・局長研修
- ・ 実習 ⇨ 8月16日～9月16日 社会福祉援助技術現場実習（4名）

【2】具体的な事業内容（地域福祉担当）

1 4 ふれあいいきいきサロン活動の支援・助成

- ・ 実施箇所 82箇所（高齢者69箇所、障がい者3箇所、子育て8箇所）
※休会中は除く
助成箇所 80箇所
- ・ サロン訪問支援回数 延べ 113回
- ・ レクリエーション用具の貸し出し 延べ 477件

1 5 ふれあいいきいきサロン連絡会

- ・ 実施日 ⇨ ① 6月2日 107名 ② 11月7日 97名
③ 2月7日 103名
- ・ 内容 ⇨ ①サロンについての説明およびレク道具の紹介
協力：サロン連絡会企画委員
②食についての講座およびサロンで活かせるレシピの紹介
講師：管理栄養士 薬真寺 真理枝 氏
③健寿による健康体操および歯とお口の健康についての講座
講師：健寿株式会社 榊永 大資 氏
歯科衛生士 堤 鈴子 氏

1 6 福祉委員制度の推進

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 研修等
 - 第1回 7月26日「介護保険と認知症についての基礎知識」
講師・・・市高齢者支援課介護保険担当 平嶋 亮 氏
参加者数 141名
 - 第2回 11月16日・17日「高齢者虐待～高齢者の権利を守るために～」
講師・・・福岡県社会福祉士会 副会長 稲吉 江美 氏
参加者数 136名

- 第3回 3月2日 「一人の百歩より百人の一步のまちづくり」
 講師・・・大牟田市駿馬南校区社会福祉協議会 会長 汐待 律子 氏
 「地域づくり実践への道」(市内取組実践報告)
 講師・・・御笠地区認知症支援実行委員会 会長 藤木 和啓 氏
 「笑顔で声かけ」訓練イン山口実行委員会
 講師・・・副実行委員長 西田 ユミ子 氏
 参加者数 173名(民生委員、一般参加者含む)

年 度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
項 目			
福祉委員数(名)	188	184	181
福祉委員設置済行政区数	77	76	76

※ 数字は、毎年3月末日の実績です。

- 17 筑紫野市民生委員児童委員連合会への協力・支援
 民生委員児童委員、主任児童委員が、地域福祉の担い手として十分に実践活動を行うことが出来るよう研修会の開催や関係機関との連絡調整、組織運営のための理事会、定例会、部会の開催を行った。
 3年に一度開催している全体一泊視察研修も熊本地震の関係で中止となったため、代替えで研修を行った。
 7月8日
 講師・・・筑紫女学園大学 教授 山崎 安則 氏
- 18 介護者のつどいの開催
 ・ 実施日 ⇄
 ① 5月10日「筑紫野市における医療・介護保険の現状について」・・・参加者数 75名
 講師 筑紫野市役所 高齢者支援課 課長 森 えつ子 氏、
 ② 7月12日「転倒予防のススメ」・・・参加者数 87名
 講師 介護福祉士 待鳥 伸司 氏
 ③ 9月13日「どうしたらいいの認知症？」……………参加者数 198名
 講師 医療法人 牧和会 牧病院 理事長 牧 聡 氏
 ④ 11月8日「病院・福祉施設職員さんとの交流会」……………参加者数 51名
 講師 小西第一病院/どい内科クリニック/むさし苑特(特別養護老人ホーム)
 宝満ラポール(小規模多機能型居宅介護)
 我楽ちくしの(グループホーム)/筑紫野市社会福祉協議会
 ⑤ 1月17日「高齢者に起りやすい事故」……………参加者数 69名
 講師 日本赤十字社福岡県支部 指導員 坂本 峰子 氏
 ⑥ 3月14日「リフレッシュバスハイク」……………参加者数 24名
 視察先 社会福祉法人 それいゆ
 ・ 内 容 ⇄ 筑紫野市及び近郊に在住の介護者同士の介護に関する情報交換や交流の場として、筑紫野市介護を考える家族の会と協働で介護者のつどいを開催した。

19 障がい児者クリスマス会

- ・ 実施日 ⇨ 12月 18日
- ・ 内 容 ⇨ 学生ボランティアスタッフの協力を得て、市内在住の障がい児者とその友人・家族を対象に、相互の交流クリスマス会をカミーリヤレストランにて実施した。

* 一般参加者…………… 24名

* 学生スタッフ…………… 10名

計 34名

20 小地域福祉活動説明会

- ・ 実施日・場所 ⇨ ① 7月7日…………… 御笠地区
- ・ 内 容 ⇨ 地域住民への小地域福祉活動への参加協力を呼び掛けるため、各行政区長へ依頼を行い、要望のあった行政区に対して、行政区役員会・隣組長会などの際に小地域福祉活動の説明会（60分程度）を実施した。

21 手話奉仕員養成講座

- ・ 内 容 ⇨ 聴覚障がい者に対する理解と社会参加への協力の輪を広げていくことを目的に手話技術の取得を行った。
講師 筑紫野市聴覚障害者協会・筑紫野市手話の会

年度 項目	平成28年度	平成27年度	平成26年度
実施日・回数	5月10日～3月14日 (火・金曜日46回)	5月8日～12月18日 (火・金曜日45回)	5月13日～10月7日 (毎週火曜日20回)
受講者(名)	26	34	25

22 入門拡大写本ボランティア講座

- ・ 実施日 ⇨ 6月3日(金)、6月10日(金)、6月17日(金)
- ・ 参加者 ⇨ 6名
- ・ 内 容 ⇨ ボランティア団体拡大写本うさぎ会員が講師として、拡大写本作成の基礎的な技術・知識を習得し、視覚障害についての理解を深めた。

23 入門朗読ボランティア講座

- ・ 実施日 ⇨ 11月8日(火)、11月15日(火)
- ・ 参加者 ⇨ 18名
- ・ 内 容 ⇨ 元NHKアナウンサー佐々木謙介氏とボランティア団体さくら会員が講師として、朗読ボランティアの基礎的な技術を修得し、視覚障害についての理解を深めた。

24 入門ボランティア講座

- ・ 実施日 ⇨ 2月1日(水)、8日(水)、15日(水) (3回シリーズ)
- ・ 参加者 ⇨ 9名
- ・ 内 容 ⇨ ボランティア活動へのきっかけづくりとしてボランティアの基礎的な知識等を学んでもらう講座として実施した。

25 ボランティア活動保険加入助成事業

項 目	年 度		
	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
加 入 者 数	982 名	1,633 名	1,708 名

(平成 28 年度より福祉委員・サロン・ボラ協以外の個人・団体掛金については自己負担)

26 ちくしの子育てサロン「ふれんずひろば」

- ・ 実施日 ⇨ 第1回 7月6日(水) ……参加者 親子 59組
第2回 10月25日(火) ……参加者 親子 89組
- ・ 内 容 ⇨ 未就学児を持つ保護者同士の情報交換の場として、ボランティア団体と協力し子育てサロンを開催。

27 サマーボランティアスクール

- ・ 内 容 ⇨ 子どもの頃からボランティア活動を行うことで、ボランティアについての理解や関心を深めてもらうことと世代間交流を目的に実施
- ・ 実施回数及び参加人員
 - * サマーボランティアスクール ① 7月29日(金)、② 8月4日(金)
③ 8月19日(金)～20日(土)
 - * スタッフミーティング …… 毎週水曜日 7回
運営ボランティアスタッフ 10名、
 - * 参加者 …… 小学4年生から中学3年生 16名

28 福祉ボランティア団体助成事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 福祉ボランティア団体の自主性の育成、活動の活性化の支援などのために筑紫野市ボランティア連絡協議会の加入8団体に対して、活動費等の助成を行った。

29 筑紫野市地域福祉計画等推進委員会の開催

- ・ 実施日 3月27日(月)
- ・ 内 容 ⇨ 平成27年度における筑紫野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗状況の報告を行った。

30 福祉機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 介護用品の無料貸し出しを行った。(※ 但し、要介護認定を受けている方は介護保険を優先させる。)

福祉機器名 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
車 イ ス (件)	171	131	99
浴 槽 内 イ ス (件)	4	2	0
介護支援ベッド (件)	5	9	3
浴 槽 手 す り (件)	5	2	0
歩 行 器 (件)	5	6	0
シャワーチェア (件)	28	8	4
エ ア マ ッ ト (件)	17	3	0
ポータブルトイレ (件)	16	7	6
貸 出 総 合 計 (件)	251	168	112

31 行事用機器貸出事業

- ・ 実施日 ⇨ 通年
- ・ 内 容 ⇨ 行事用機器の無料貸し出しを行った。

福祉機器名 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
綿 菓 子 機 (件)	28	27	25
ポップコーン機 (件)	26	26	28
ヨーヨー釣り用具 (件)	1	1	3

【3】具体的な事業内容（暮らしのサポートセンター担当）

3.2 日常生活自立支援事業（福岡県社協受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 生活保護受給者で、判断能力が不十分なために日常生活に支障がある方を対象に福祉サービス利用援助（日常的金銭管理等）を実施し、誰もが安心して地域の中で生活できるよう支援を行った。

年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
契 約 件 数 (件)	28	24	25
訪 問 支 援 件 数 (延 件 数)	376	232	248

3.3 暮らしのサポートセンター事業

- ・ 内 容 ⇨ 判断能力が不十分なために日常生活に支障がある方を対象に福祉サービス利用援助（日常的金銭管理等）を実施し、誰もが安心して地域の中で生活できるよう支援を行った。対象者の枠を拡げ、「日常生活自立支援事業」の対象外の方の受け入れも行った。

年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
契 約 件 数 (件)	34	25	20
訪 問 支 援 件 数 (延 件 数)	511	380	266

3.4 法人後見事業

- ・ 内 容 ⇨ 認知症、知的障がい、精神障がい等により意思決定が困難な人の判断能力を補うため、社協が法人後見人、保佐人及び補助人となることにより本人が安心して生活ができるよう支援を行った。

年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
契 約 件 数 (件)	1	0	0
訪 問 支 援 件 数 (延 件 数)	55	0	0

3.5 不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座

- ・ 内 容 ⇨ 不登校の不安や悩みを共に考えていくことを通して、保護者自身が家庭におけるわが子とより良い関係を再構築できるように支援するサポーターの養成を行った。

講師：教育文化研究所 代表 長阿彌 幹生 氏

年度 項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
実施日・回数	平成 29 年 1 月～3 月 (隔週火曜日・6 回)	平成 28 年 1 月～3 月 (隔週火曜日・6 回)	
受講者延人数 (名)	50	105	

36 不登校に悩む保護者支援サポーターフォローアップ講座

- ・ 内 容 ⇨ 「不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座」修了生を対象に、カウンセリング機会の創出を行い、活動の場を拡げていくために実施した。
講師：教育文化研究所 代表 長阿彌 幹生 氏

年度 項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
実施日・回数	4 月 5 日～3 月 21 日 (毎月第 2 金曜日・12 回)		
受講者延人数 (名)	121		

37 不登校講演会

- ・ 内 容 ⇨ 不登校の基本的理解についてや不登校経験のある子を持つ保護者の体験とその時の対応などを聴き、語り合う講演会を実施した。
講師：教育文化研究所 代表 長阿彌 幹生 氏

年度 項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
実施日	12 月 11 日 (日曜日)		
参加者 (名)	22		

38 天拝いこいの館の運営 (利用状況)

年度 項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
開館日数	281	304	281
足湯利用者延人数 (名)	2,363	2,968	2,373

【4】具体的な事業内容（介護保険課）

39 障害者等居宅介護事業

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で身体障がい、知的障がいのある方（児童を含む）、精神障がいのある方のお宅にホームヘルパーを派遣し適切な家事及び介護等の日常生活の支援を行った。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者実人数月平均（名）	47	47	48
年間利用者延人数（名）	3,895	3,941	4,283
年間利用者延人数月平均（名）	325	328	357

40 高齢者家事援助ヘルパー派遣事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、介護保険の要支援・要介護認定において自立と認められた方の中で、特に市が自立した生活の継続を可能にするとともに、要支援・要介護状態への進行防止を図るためにホームヘルパーを派遣して軽易な日常生活上の援助を行った。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者実人数月平均（名）	16	13	15
年間利用者延人数（名）	370	297	324
年間利用者延人数月平均（名）	31	25	27

41 コミュニティヘルパー派遣事業

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、高齢者や障がい者、また突然の事故や病気で日常生活に手助けが必要になった方に対し、ホームヘルパーを派遣して、適切な家事援助や軽介護サービスを提供し、在宅生活の支援を行った。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者実人数月平均（名）	7	6	8
年間利用者延人数（名）	265	410	511
年間利用者延人数月平均（名）	22	34	43

4.2 居宅介護支援事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられた利用者に対してケアプランまたは予防プランを作成してサービス事業者との調整を行った。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
月平均介護保険ケアプラン作成数 (件)	72	71	78
年間介護保険ケアプラン作成数 (件)	861	854	935
月平均介護予防ケアプラン作成数 (件)	28	32	36
年間介護予防ケアプラン作成数 (件)	335	382	431
年間ケアプラン総作成数 (件)	1,196	1,236	1,366

※ (ケアマネージャー数) (4名) (4名) (4名)

4.3 訪問介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランまたは予防プランで訪問介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、生活援助・身体介護・相談助言のサービスを行った。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者実人数月平均 (名)	87	88	86
年間利用者延人数 (名)	8,244	8,789	8,338
年間利用者延人数月平均 (名)	687	732	695

4.4 訪問入浴介護事業（介護保険事業）

- ・ 内 容 ⇨ 介護保険制度における要介護及び要支援認定を受けられ、ケアプランで訪問入浴介護を必要とする計画を立てられた利用者に対して、入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者実人数月平均 (名)	2	2	2
年間利用者延人数 (名)	123	139	147
年間利用者延人数月平均 (名)	10	12	12

4.5 入浴サービス事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、重度の身体障がいのため自宅での入浴が困難な方に対して入浴設備を備えた訪問入浴車を自宅へ派遣し、入浴サービスを実施することにより身体の清潔を保ち、快適な在宅生活を支援した。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者実人数月平均（名）	4	6	7
年間利用者延人数（名）	472	561	606
年間利用者延人数月平均（名）	39	47	50

4.6 「食」の自立支援事業（受託事業）

- ・ 内 容 ⇨ 筑紫野市民で、虚弱な高齢者若しくは心身に障がいを有する方に対して、夕食の提供及び、一人暮らし高齢者の安否確認を目的として弁当配達を行った。また、ふれあいいいききサロンの開催をお知らせするなど地域福祉活動との連携を図った。

項 目 \ 年 度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
利用者実人数月平均（名）	144	134	137
年間総利用食数（食）	35,790	34,776	33,500
利用食数月平均（食）	2,982	2,898	2,792
利用食数 1 日平均（食）	98	95	91

【5】具体的な事業内容（施設課）

4.7 生活介護事業

- ・ 内 容 ⇨ 個別支援計画に基づき、利用者に応じた介助・支援を行った。

年度 項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
契 約 者 数(名)	22	21	20
年間利用者延人数(名)	3,519	3,567	3,637
年間開所日数(日)	240	238	239
1日平均利用者数(名)	15	15	15

4.8 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

- ・ 内 容 ⇨ 夏休み等長期休暇中の障がい児を対象に、生活の安定を図り、自立や社会参加のための支援を行った。

年度 項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
契 約 者 数(名)	31	41	61
年間利用者延人数(名)	318	347	349
年間実施日数(日)	45	50	48

4.9 児童発達支援事業所「ちくしのスマイルキッズ」事業

- ・ 内 容 ⇨ 心身の発達において特別な配慮が必要と思われる未就学児に対し、基本的な生活習慣の自立が図れるように、個別及び集団による日常生活に必要な機能訓練や生活指導を行った。

年度 項目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
契 約 者 数(名)	14	20	20
年間利用者延人数(名)	537	855	501
年間実施日数(日)	187	225	161

❖ 平成 26 年度新規事業

5 0 お楽しみ食事会（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 食事を通じての楽しみづくりとして、季節にあった食事会を実施した。
- ・ 実施日 ⇨ 5月30日 チョコフォンデュ ・7月12日 そうめん流し
11月2日 バーベキュー、焼き芋 ・2月1日 恵方巻き作り

5 1 季節行事活動（生活介護事業）

- 4月⇒お花見（桜・藤）、折り紙で鯉のぼり作成
- 5月⇒いちご狩り、ポピー・バラ見学、母の日のカーネーション作成
- 7月⇒七夕会
- 10月⇒コスモス見学
- 11月⇒紅葉見学、わらゴジラ見学、クリスマスツリー作成
- 12月⇒餅つき、クリスマス会
- 1月⇒新年会
- 2月⇒節 分
- 3月⇒雛祭り

5 2 社会体験親睦バスハイク（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 社会見学を通して楽しみや感動、満足感を味わい、経験の幅を広げ社会参加や自立を高めた。
- ・ 実施日 ⇨ 10月14日
- ・ 行き先 ⇨ HAWKSベースボールパーク筑後
参加者数…利用者16名、利用者家族13名

5 3 地域社会参加（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 地域の方や市内各団体、グループの方、福祉関係の大学生とのレクリエーションを通して交流を図り、障がい者福祉への理解を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 11月16日
- ・ 行き先 ⇨ 筑紫女学園大学
参加者数…利用者7名

5 4 もちつき大会（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨ 九州電力株式会社福岡南営業所職員ボランティア等との交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 12月9日
参加者数⇨利用者16名

5 5 音楽療法（生活介護事業）

- ・ 内 容 ⇨外部講師の音楽療法士指導のもと、楽器や歌の活動、身体活動を通して音楽を楽しみながらリラックス、集中力のアップ、情緒の安定を図った。
- ・ 実施回数⇨年間12回実施（月2回）

5 6 遠足（児童発達支援事業）

- ・ 内 容 ⇨ 社会のルールを学び、季節の変化を感じられる園外療育として遠足を行い、家族間の交流を深めた。
- ・ 実施日 ⇨ 10月18日・19日
- ・ 行き先 ⇨ 久留米鳥類センター
- ・ 参加者数…18日 利用児童・家族4組 19日 利用児童・家族4組